

- ☆第16回定期大会
- ☆定期大会 会長挨拶要旨
- ☆新任役員紹介
- ☆退任役員紹介
- ☆定期大会フォト
- ☆メンタルヘルス研修会/12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

私たちが未来を変える ～安心社会に向けて～

第16回定期大会開催

連合埼玉は、第16回定期大会を11月20日(水)、浦和ロイヤルパインズホテルにて、代議員・傍聴・来賓など、約250名の参加のもと開催した。

主催者代表挨拶において連合埼玉近藤会長より、「自然災害」、「政治」、「働き方改革」といった、連合埼玉を取り巻く情勢や課題について挨拶があった。大会では2020～2021年度運動方針、2020年度予算などの議案が審議され、全ての議案が満場一致にて確認された。

新役員の選出では今大会にて10年間、連合埼玉の事務局長を務めた佐藤事務局長が退任され、新たに平尾事務局長が選任された。新役員を代表し、近藤会長から「連合埼玉結成30周年にむけ、構成組織・地域協議会と着実に運動を進めていく」と挨拶があり、最後に参加者全員のガンバロー三唱にて大会を終了した。

連合埼玉第16回定期大会での報告事項及び議事内容

【各種報告】

- 1)2019年度 活動経過報告
- 2)2019年度 会計報告
- 3)2019年度 会計監査報告
- 4)特別報告
 - ①2019年度「埼玉県労働委員会」報告
 - ②2019年度「埼玉地方最低賃金審議会」報告

【議事】

- 第1号議案 2020～2021年度
運動方針について
- 第2号議案 2020年度 予算について
- 第3号議案 2020年度～2021年度役員の選出について
- 第4号議案 顧問の委嘱について

【その他】

- 大会スローガンの確認
大会宣言の採択



連合埼玉第16回定期大会 挨拶要旨

会長 近藤 嘉

今定期大会の冒頭にあたり、4点ほど所見を述べさせていただきます。挨拶に代えさせていただきます。

1点目は、「自然災害の発生」についてです。昨年も大阪府北部地震や北海道胆振東部地震、西日本豪雨災害、そして2つの大きな台風が日本列島を縦断し、大変大きな被害が発生しましたが、今年についても、1月3日に熊本県で震度6弱の地震が発生して以降、北海道・宮崎・千葉・山形・新潟・福島にて、震度5弱から震度6強の大きな地震が発生し、8月末の九州北部での豪雨、9月上旬の台風15号の影響により、大きな被害が出ました。

更には10月中旬の台風19号とその直後の大雨により、90名以上の方々がお亡くなりになり、未だ行方不明の方もいらっしゃいます。また、広い範囲で床上浸水などの被害が出ております。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災をされましたすべての皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

連合本部では構成組織・地方連合会の協力のもと、福島県を中心にボランティアを派遣していますが、連合埼玉としては、10月20日(日)に各構成組織より総勢62名の参加をいただき、災害ボランティア救援隊を川越市/坂戸市に派遣いたしました。しかしながら、県内ではいまだ復旧の目処が立っていない地域もあり、大変な思いをされている方々がいらっしゃいますので、今後も臨機応変な対応を図って行きます。一日も早く復旧・復興し、これまでの生活が早く取り戻せる様、心よりお祈り申し上げますとともに、今後も被災地に対する積極的な復興支援を含め、被災地に寄り添い、想いを寄せながら活動・行動していきたいと思っております。

2点目は、「政治について」です。一昨年の第15回定期大会以降、様々な場面において「安倍政権の暴走、与党の暴走を阻止するためには、一人でも多くの働く者の代表を政治の場に送り出し、全力で活動を進めていく必要がある」、そして、「中央集権的な一強政治を打ち破るためには、それぞれの地域における同志の結集が不可欠である」と共有してきました。また、2019年は統一地方選挙と参議院議員選挙が同じ年に施行される12年に一度の極めて重要な年になると心合わせをしてまいりました。

埼玉については、8月の埼玉県知事選挙、10月の参議院議員補欠選挙、その他中間選挙も含めると、この一年間はまさに選挙の年でした。今年の実選については、連合として「政権交代可能な二大政党的政治体制に向けての足がかり」と位置付け、活動を展開してきました。そして、立憲民主党・国民民主党とは、「与党を利さない」ことを前提に二つの党と政策協定を締結し、連合として初めて二つの党を同時に支援してきました。更には構成組織から出ている組織内の比例候補が、立憲民主党と国民民主党に分かれている状況での選挙とな



近藤 嘉会長

り、これまでに経験したことのない非常に厳しく、極めて難しい選挙と捉えております。改めて、この間の各級議員の選挙における、候補者全員の当選に向けて、各構成組織・地域協議会の皆さんには、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたことに心より感謝を申し上げます。

3点目は「働き方改革」についてです。昨年の7月の通常国会において「働き方改革関連法」が成立し、大手を中心に今年4月より順次適用されています。そのような中、埼玉労働局から「平成30年度長時間労働が疑われる事業場に対する監督指導結果」が公表されました。改正労働基準法施行前の法令に基づく監督指導結果ですが、長時間労働が疑われる880の事業場に実施し、全体の約7割にあたる624の事業場で法令違反があり、その内の約5割にあたる434事業場で違法な時間外労働がありました。

来年4月からは中小企業も対象になり連合埼玉としても各構成組織・加盟組合と情報共有をした上で、公労使会議や労働局・経営者団体と連携を図りながら、議論・意見提言をしていきたいと思っております。

4点目になりますが、連合埼玉は今年12月16日で結成から30年を迎えます。連合は1989年11月の結成以来、節目ごとにあるべき社会像と運動の羅針盤とするビジョンを提起してきました。2001年の「労働を中心とした福祉型社会」、2010年の「働くことを軸とする安心社会」、そして今回、2035年を展望した「連合ビジョン」を策定しています。これは、「働くことを軸とする安心社会」の価値観を継承・進化させ、更に「まもる・つなぐ・創り出す」をキーワードに、実現に向けた「運動面の強化」と「政策面の充実」を盛り込んだものとなります。私たちを取り巻く環境は、スピードを上げながら大きく変化しています。そのような中であっても、大会スローガンにある「私たちが変える～安心社会に向けて～」を胸に、果敢にチャレンジしていきたいと思っておりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

新任役員紹介

①産別・単組 ②抱負

副会長 二階堂 祐輔(にかいどう ゆうすけ)

- ①自動車総連 本田技研労働組合
 ②この度、副会長を仰せつかりました二階堂です。
 私たちを取り巻く環境は変化しており、将来にわたり安心して働き続けられる環境構築をめざし、様々な課題に産別を超えた取り組みを進めていくことで、働く仲間とその家族の幸せにつなげられるよう活動に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



副会長 土屋 幸一(つちや こういち)

- ①電機連合埼玉地方協議会
 サンケン電気労働組合
 ②埼玉県で働く仲間たちのために、生活不安・雇用不安・将来不安を払拭できるよう労働条件や労働環境の改善を目指し、安心して働き暮らせるように活動していきたいと思ひます。



副会長 小林 健一(こばやし けんいち)

- ①情報労連埼玉県協議会
 NTT労働組合北関東信越総支部
 ②2年ぶりに連合埼玉役員に復帰し、副会長の重責を担うことになりました。産別を超えた交流を深めつつ、各種政策・制度要求の実現に向けて、その一翼を担うべく力不足ではありますが全力で頑張りたいと思ひます。



副会長 金谷 慶國(かなや よしくに)

- ①埼玉県電力総連
 東京電力労働組合埼玉地区本部
 ②発足から30年の節目を迎えたこの連合埼玉に集う仲間みなさんと共に「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、責任と役割を果たし、スピード感を持って運動を展開することにより、更に前進させていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局長 平尾 幹雄(ひらお みきお)

- ①電機連合埼玉地方協議会
 OKIグループ連合OKIソフトウェアユニオン
 ②この度、連合埼玉の第6代事務局長に就任しました。結成30周年の節目を迎え、これまで諸先輩方が築き上げた労働運動を、埼玉県で働く人、生活する人を中心に置きながら、各構成組織、単組の皆さんの力をお借りして持続可能性のある包摂な社会をめざして、すべての働く人から頼りにされる労働運動を推進していきたいと思ひます。



副事務局長 柿沼 聡(かきぬま さとし)

- ①自動車総連 本田技研労働組合
 ②私たち労働者を取り巻く環境は、第4次産業革命や働き方改革など大きく変化しており、変化のスピードも増しています。このように企業や社会が大きく変わる中では労働組合の果たす役割は非常に重要と考えます。労働運動を進める上では、労働組合の役割を見極め、連合埼玉を構成する産別・単組の皆さんとともに働く仲間の「底上げ」「底支え」「格差是正」に向け、精一杯力を尽くしていきます。



副事務局長 酒井 勉(さかい つとむ)

- ①UAゼンセン
 上新電機労働組合
 ②30代の6年間、ゼンセン同盟(当時)で仕事をしましたが、それ以降は単組活動を続けてきました。連合運動はメーデーに参加する程度で直接関わることはありませんでした。60代を目前に新たな「転機」にワクワクしています。皆様、よろしくお願いいたします。



副事務局長 大谷 誠一(おおたに せいいち)

- ①埼玉県電力総連
 東京電力労働組合埼玉地区本部
 ②今年度より副事務局長として活動することになりました。連合埼玉の役員として組織内外の労働者との連携を図り、働く者の視点に立った取り組みを進め、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて微力ながら努力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



執行委員 長沢 英俊(ながさわ ひでとし)

- ①UAゼンセン 関東労働組合川口化学支部
 ②川口・戸田・蕨地域協議会で副議長を仰せつかっておりました関係で、連合埼玉の皆様には大変お世話になっております。この度、構成組織事情により執行委員という大役を仰せつかり、新たな役割で頑張らせていただきます。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



執行委員 近藤 正人(こんどう まさひと)

- ①電機連合埼玉地方協議会
 パイオニア労働組合川越支部
 ②これまで副事務局長としての4年間、大変お世話になりました。今後は執行委員として、連合運動に取り組みさせていただくことになりました。これまでの経験も活かしながら、めざすべき社会像の実現に向け、運動の推進に尽力してまいります。よろしくお願いいたします。



執行委員 赤羽 正芳(あかはね まさよし)

- ① J P 労組埼玉連絡協議会
- ② 連合埼玉の執行委員として、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会 一まもる・つなぐ・創り出す」の実現に向けて、組合員の声をよく聴きながら、全力で取り組んで参りますので、みなさま、よろしくお願い申し上げます。



執行委員 井上 尚子(いのうえ なおこ)

- ① 情報労連埼玉県協議会
NTT労働組合
- ② さまざまな雇用形態がある中で、すべての人が「働くことを軸とする安心社会」を実現するために、クラシノソコアゲ応援団の一員として皆さんと共に活動を進めていきます。大任であり務まるか心配です。応援よろしくお願いいたします。



執行委員 増田 哲(ますだ さとし)

- ① 埼玉県私鉄 東武バス労働組合
- ② 実感なき景気回復の中、われわれ労働者は厳しい生活を強いられています。労働者の権利を守り、生活水準、そして労働条件向上に取り組むとともに安心して働き続けられる平和な社会を構築していくため微力ながら尽力していきます。



執行委員 甘浦 大(つづうら はじめ)

- ① 運輸労連埼玉県連
全日通労働組合東京支部埼玉県協議会
- ② 1つ1つの活動を執行委員の立場で理解をしていきます。また、変化していく時代や人の感覚を意識して連合埼玉の運動に取り組みます。



執行委員 菊地 裕次(きくち ゆうじ)

- ① 基幹労連埼玉県本部
三井金属鉱業銅箔事業部労働組合
- ② 新役員で慣れない点も多く、ご迷惑をおかけいたしますが、埼玉県内で働く方々のために精一杯がんばって参りますので、よろしくお願いいたします。



執行委員 南保 肇(なんぼ はじめ)

- ① 全水道埼玉県支部
さいたま市水道労働組合
- ② 連合埼玉で再度お世話になる南保と申します。20年近く前に青年女性部でお世話になって以来になります。約20年ぶりということで大変緊張しております。ご迷惑をお掛けすることなど色々あるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



執行委員 大島 学(おおしま まなぶ)

- ① 建設埼玉
- ② 連合埼玉が掲げる「すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し」を念頭に置きながら、各種の活動に積極的に加わり、全力で取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



執行委員 岡 勇介(おか ゆうすけ)

- ① 自動車総連埼玉地協
帝都ゴム労働組合
- ② 私たちの働く取り巻く環境は大変厳しい状況下であり、諸課題が山積みされております。埼玉で働く人がより良い環境下で安心・安定した生活が送れるよう、青年層の力を結集し全力で活動を推進していきます。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



会計監査 柳澤 潔(やなぎさわ きよし)

- ① 印刷労連関東北部地方協議会
凸版印刷労働組合秋葉原支部
- ② 今回はじめて会計監査という役職を担うことになりました。今までの組合活動の経験を活かし、貴重な組合費を連合埼玉の運動に最大限効果的に生かしていけるように勉強して務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



特別執行委員 小峯 冴子(こみね さえこ)

- ① 自動車総連 本田技研労働組合
- ② この度、連合埼玉の特別執行委員という大役を仰せつかることになりました。身に余る重責ではありますが、誠心誠意、皆様のご期待に添うように尽力していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



会計監査 井上 利明(いのうえ としあき)

- ① 政労連埼玉地連 I AMユニオン
- ② 新元号となり祝福ムードが漂うこの頃ですが、自然災害が後を絶たない年でもありました。その中、微力ながら役員を担うこととなり、ひしひしと重責を感じるところであります。私個人として組合員の経験は浅いですが、役員としての仕事をしっかりと果たしていくことができばと考えています。よろしくお願いいたします。



退任役員紹介

①在任期間 ②産別・単組 ③ひとこと

前副会長 山本 洋志(やまもと ひろし)

- ①2017年11月～ 2年間
 ②自動車総連 本田技研労働組合
 ③労組役員19年間の中で、10年間連合運動に携われたことは私にとって貴重な経験であり、大きな財産となりました。産別の枠をこえて多くの人と出会い、共に学び、そして支えていただき、多くの感動を実感することができました。誰もが明るく、笑顔で生活できるように連合の強みである「顔合わせ」「心合わせ」「力合わせ」で、更に運動が進化することを祈念申し上げます。



前副会長 浅見 明良(あさみ あきら)

- ①2013年11月～ 6年間
 ②情報労連埼玉県協議会
 NTT労働組合北関東信越総支部
 ③副会長として6年間、本当にお世話になりました。連合埼玉の皆さんと密度の濃い労働運動が推進できたことは大きな喜びでした。今後とも連合埼玉と加盟組織の益々の発展、皆様の安全と健康を祈念します。ありがとうございました。



前事務局長 佐藤 道明(さとう みちあき)

- ①2009年11月～ 10年間
 ②埼玉県電力総連 東京電力労働組合
 ③2000年7月に連合埼玉に着任し、副事務局長9年間、事務局長10年間と長きにわたり活動の機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。様々な活動をつうじ、多くの方々に出会うことができ、自己成長できたと強く感じています。今後は新たな場所で活動させていただきます。活動を共にさせていただく方も多いと思いますが、引き続きよろしくお願ひいたします。多くの皆様にご支援ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



前副事務局長 芳賀 剛志(はが たかし)

- ①2014年11～5年間
 ②自動車総連 本田技研労働組合
 ③2014年から5年間にわたり、副事務局長として連合運動に携わって参りました。この間、非常に多くの皆様からご支援、ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。地方連合会役員として社会に働きかけていくことの大切さ、難しさを学び続けた5年間だったと感じています。また、今後企業人として生きていく上でも必ず役に立つ学びであったとも感じています。ありがとうございました。



前副事務局長 小林 孝徳(こばやし たかのり)

- ①2013年11月～ 6年間
 ②UAゼンセン
 ③副事務局長として6年間大変お世話になりました。多くの皆さんに支えられて、任をまっとうできましたことに感謝申し上げます。連合運動をつうじて、産別の枠をこえた多くの役員の方と仕事できたのは、私の財産です。これまでの連合埼玉での運動を今後の産別運動で活かしていけるよう頑張りますので、引き続きよろしくお願ひいたします。



前執行委員 斉藤 幸久(さいとう ゆきひさ)

- ①2015年11月～ 4年間
 ②UAゼンセン 花菱縫製労働組合
 ③組織都合により執行委員を退任することとなりました。任期中は、大変ご心配と迷惑をおかけいたしました。実は退任するのが2度目です。2度あることは3度あると申しますが、決してもう帰ってくることはありません。どこかで見かけたら、見て見ぬふりをして下さい。本当に前回と今回の4年間ありがとうございました。



前執行委員 竹内 秀之(たけうち ひでゆき)

- ①2016年11月～ 3年間
 ②電機連合 富士電機労働組合吹上支部
 ③3年間執行委員として連合運動に携わり、産別の枠を超えてたくさんの方々との出会い、様々な経験により労組役員として多くのことを学び、人としても成長させて頂きました。心より感謝申し上げます。この経験を活かしながら、今後の連合運動にも積極的に参加していきたいと思ひます。ありがとうございました。



前執行委員 瀧澤 成光(たきざわ しげみつ)

- ①2017年11月～ 2年間
 ②JP労組埼玉連絡協議会
 ③執行委員として2年間お世話になりました。不十分ではありましたが、任期を終了することができました。連合埼玉とのかわりには、30年前の藤・戸田地協の事務局次長(設立)から川越・西入間地協の議長など地協活動が中心でした。関係して頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。



前執行委員 鶴谷 一仁(つるがや かずひと)

- ①2017年11月～ 2年間
 ②情報労連埼玉県協議会
 NTT労働組合北関東信越総支部
 ③今回の退任で3度目になります。執行委員、副事務局長、そしてまた執行委員と何度も出戻りさせていただきました。この間、様々な産別の方々にお世話になり、大変勉強になる体験をさせていただきました。皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



前執行委員 間中 範幸(まなか のりゆき)

- ①2012年11月～ 7年間
 ②埼玉県県鉄 東武バス労働組合
 ③産別内での運動で活動してきましたが、連合役員になって他産別の皆様と意見交換でき、大変勉強になりました。働く者にとって厳しい状況が続いていますが「労働者の生活改善は労働組合に結集し、団結してたたかう以外ない!」。この実践のため加盟産別、連合埼玉の奮闘を祈念いたします。



前執行委員 牧野 智一(まきの ともかず)

- ①2012年11月～ 7年間
- ②運輸労連埼玉県連 武蔵貨物自動車労働組合
- ③約7年間、連合埼玉のみなさんには大変お世話になりました。働く者の立場での運動への取り組みは退任後も微力ではありますが継続していきます。長い間、本当にありがとうございました。



前執行委員 細越 吉彦(ほそごえ よしひこ)

- ①2018年11月～ 1年間
- ②基幹労連埼玉県本部 DOWAハイテック労働組合
- ③執行委員として1年間でしたが、大変お世話になりました。これからの皆様のご活躍とご多幸を祈念申し上げます。ありがとうございました。ご安全に!



前執行委員 星野 昌彦(ほしの まさひこ)

- ①2015年11月～ 4年間
- ②全水道埼玉県支部さいたま市水道労働組合
- ③連合埼玉で4年間貴重な経験をし、民間労組の運動方法などを学ぶことができました。また、たくさんの人との出会いがあり、人とのつながりという財産をいただきました。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



前執行委員 山本 豊(やまもと ゆたか)

- ①2016年11月～ 3年間
- ②建設埼玉
- ③連合埼玉や他組合の運動を知り学ぶ事ばかりでした。私たち労働者が働きやすい社会・誰ひとり残さないすべての労働者が安心する社会を創り出すことを目指し、これからも僅かながら運動に参加していきます。ありがとうございました。



前執行委員 龍口 隆二(たつぐち りゅうじ)

- ①2018年11月～ 1年間
- ②印刷労連関東北部地方協議会 凸版印刷労働組合TCP支部
- ③青年委員会から選出として執行委員となりましたが、連合埼玉の機関運営に携われたことは貴重な経験であり、大変勉強になりました。単組ではできないことをたくさん経験させていただきました。この経験を今後の活動に活かしていけるよう頑張っていきます。1年間という短い期間でしたがありがとうございました。



前特別執行委員 中里 弘子(なかざと ひろこ)

- ①2017年11月～ 2年間
- ②自動車総連 本田技研労働組合
- ③特別執行委員として連合活動に参加させていただき、皆様には大変お世話になりました。退任後も一労働者として組合活動に関心を持ち、よき理解者になりたいと思っております。2年間ありがとうございました。



前会計監査 五十嵐 和則(いがらし かずのり)

- ①2015年11月～ 4年間
- ②印刷労連関東北部地方協議会 凸版印刷労働組合
- ③会計監査という重要な任務を務めさせていただき、とても勉強になりました。今後は働く仲間として陰ながら連合埼玉をバックアップしていきたいと思っております。大変お世話になりました。ありがとうございました。



前会計監査 西山 勉(にしやまつとむ)

- ①2018年11月～ 1年間
- ②政労連埼玉地連 雇用支援機構労働組合埼玉支部
- ③短い期間でしたが、大変貴重な経験をさせていただきました。会計監査を通して連合埼玉や各組織の詳細な活動を知ることができました。お世話になりました皆様にお礼申し上げます。これからの連合埼玉のご発展を祈念するとともに組合員としてしっかりと活動・応援してまいります。



第16回定期大会フォト



メンタルヘルスの基礎として職場での対応とセルフケアを学ぶ

～メンタルヘルス研修会(基礎編)開催～

10月23日(水)埼玉会館にて、加盟組合の役員および企業の人事労務担当者9名の参加のもと、2019年度メンタルヘルス研修会(基礎編)を開催した。

今回の研修では、「ラインケアによる組織の健康とストレス対策」と題し、昨年に引き続き臨床心理士であり日本産業カウンセラー協会北関東支部シニア産業カウンセラーの大澤昇氏より講義を受けた。

講義冒頭では、予防の重要性と予防に向けた組合や職場が担うラインケアの重要性について講義があった。

その後、ラインケアをおこなう上で必要となる傾聴やアサーションなどのスキルを参加者同士で演習をおこない、その効果を体験しながら学んだ。

最後には、コーピングやマインドフルネス呼吸法などセルフケアの知識や対処法について学んで研修会を終了した。

「職場における心の健康問題」は労使ともに取り組まなければならない重要な課題であることから、連合埼玉は今後もメンタルヘルスについて学ぶ機会を提供していく。



講師 大澤 昇氏



挨拶する平尾副会長



研修の様子(演習)

現在予定される12月の日程表です

12月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 日		①北方領土返還要求アピール行動(10:00～・日比谷公園) ②朝霞市議会議員選挙投票日 ③上尾市議会議員選挙投票日
2日 月		連合「第1回地方連合会代表者会議」(14:00～17:00・浦安ブライTONホテル東京ベイ)
3日 火	第1回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	①連合「第81回中央委員会」(10:00～14:00・浦安ブライTONホテル東京ベイ) ②2019山根ふみ子政経セミナー(18:30～・川越氷川会館)
4日 水		①朝霞・東入間地域協議会「第5回幹事会」(18:30～・本田技研労働組合研究所支部) ②県央地域協議会「総会」
5日 木		①関東ブロック「春季生活闘争会議」(14:00～・宮城県ホテル松島大観荘) ②関東ブロック「第30定期総会」(16:00～・宮城県ホテル松島大観荘)
6日 金		
7日 土		
8日 日		
9日 月		さいたま地域協議会「列島クリーンキャンペーン」(10:00～・岩槻区永代橋周辺)
10日 火	①第1回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②組合役員教育プログラム「2020年開講説明会」(15:30～・ときわ会館)	
11日 水	埼玉シニア連合「編集委員会(編集・校正)」(14:00～・連合埼玉会議室)	東部地域協議会「第8回総会」(18:30～・イベントホール「ネスパ」)
12日 木	全国一斉労働相談ホットライン(10:00～19:00～12/13)	①第1回埼玉地方労働審議会(10:00～・プリランテ武蔵野) ②さいたま地域協議会「第10回幹事会」(18:30～・ネット21大宮)
13日 金		北埼玉地域協議会「行田・羽生合同幹事会」(18:10～・羽生ルートイン)
14日 土		
15日 日		
16日 月		
17日 火		連合「第1回全国男女平等推進委員会委員長連絡会、第1回構成組織・地方連合会女性代表者連絡会」(13:30～・全電通労働会館)
18日 水		
19日 木		
20日 金		
21日 土		
22日 日		
23日 月	ネット21「第5回運営委員会」(10:00～・連合埼玉会議室)	
24日 火		
25日 水	埼玉シニア連合「第1回四役会・幹事会」「編集委員会(発送)」(13:00～14:00～・15:40～・連合埼玉会議室)	
26日 木		
27日 金		
28日 土		
29日 日		
30日 月	↓1月4日まで年末年始休暇	
31日 火		



◆はじめに

あけぼのビルの読者の皆さん、こんにちは。連合埼玉の第16回の定期大会で事務局長に就任しました電機連合埼玉地協(OKIグループ連合 OKIソフトウェアユニオン)出身の平尾です。これまで10年間「あけぼのビル」の執筆をおこなった佐藤前事務局長には、改めて、これまでの執筆に感謝申し上げます。

さて、本号より、連合埼玉の諸活動への思いや考えなど「あけぼのビル」をつうじて、読者の皆さんに、伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◆結成30年の第16回定期大会を終えて

連合埼玉は、結成30年の節目の第16回定期大会を11月20日(水)に開催し、新たな2020~2021年度の運動方針を確認しました。新たに確認した運動方針は、連合結成30年を振り返り、「私たちが未来を変える」との決意のもと、新たに連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けた運動の一步として、希望ある未来が次の世代に続いていく「持続可能性」と、互いに認め支え合い、誰一人として取り残すことのない「包摂」の理念をこれまで以上に重視した方針を確認しました。

改めて、結成から30年間積み重ねてきた労働運動の重さを感じながら、これからの連合埼玉の役割について、考えてみたい。



30年前の「連合埼玉」結成大会(大宮ソニックシティ)

◆労働組合は、働く現場が原点

連合埼玉の結成は、今から30年前の1989年(平成元年)12月16日(土)に、産声を上げました。結成当時、45単産組織、179,336人の組織規模で運動をスタートし、埼玉県に働く仲間、埼玉県に生活する働く仲間の労働者福祉の実現のために、労働運動をスタートしました。結成当時の記録などを見ると、昭和から平成が切り替わり、バブル経済の中でも、当時の株価が過去最高の38,957円

(平成元年12月29日の大納会)を出すような経済の中で結成されました。

結成当時の歴代会長のコメントを読んでも、思いや考え方が異なる労働団体が一つになって、さまざまな政策をまとめていくことに苦心され、まずは、顔あわせ、心あわせ、そして力あわせをしながら、楽しく、新しい夢に向かって色々なことを話し合ったことなどが残っています。

連合埼玉は、現在38構成組織(オプ加盟含む)171,679名の組織人員の組織となっています。結成当時からは、組織人員で7,657名減少していますが、労働組合の組織人員が減少している中では、何とか減少幅を抑えているような状況にあります。

労働組合は、組合員の幸せを追求する組織だと思っています。そのためには、企業(組織)内組合であれば、組合員の声を聴き、労働条件の維持・向上をはじめ、働く現場の安心・安全の確保、労使協議による企業組織の成長などにより、組合員とその家族を含めて支えていく組織だと思っています。しかしながら、組合員の幸せを追求していくと、企業(組織)内だけでは、解決できないことがあります。法律などの社会ルールを変えることや、生活する地域の医療、子育て、教育、介護などの改善は、国会や自治体などの政治の中で解決する必要があります。また、生活していく上での金の相談や様々なリスクに備える保険は、共済(労金・労済)の取り組みで解決する必要があります。

このように、企業(組織)内組合だけでは解決できない政治、共済の取り組みを含めた労働組合の役割は、世界でも同様に3つの機能として、1つ目は生活諸条件改善のために労使交渉によって実現するレイバー・ムーブメント(Labor movement)、2つ目は自分たちの政策制度要求を政治で実現するポリティカル・ムーブメント(Political movement)、3つ目は協同組合や共済活動によって実現するコーポラティブ・ムーブメント(Cooperative movement)の3つで労働組合運動が成り立っていると言われています。

◆新たな歩みにあたって

連合埼玉は、各構成組織、加盟組合で働く仲間の幸せを思い、それぞれの組織だけでは解決できないことを実現する組織でなければならないと思っています。例えば、労働組合のない組織で働く人の組織拡大、政策制度の実現のための政治への取り組み、労働行政との連携などがあります。しかしながら、連合埼玉の運動は、各構成組織、加盟組合の皆さんの力を借りないと前に進むことはできません。そのために、各構成組織間の連携、各加盟組合の現場力(組織力)の強化支援などもおこなっていく必要があります。

結びに、11月2日に閉会したラグビーワールドカップ2019日本大会で、日本チームが「ONE TEAM」となって強い結束力で闘ったように、連合埼玉が各構成組織、加盟組合と一体となって、私たちが暮らす社会を「より良い社会」へと変えていくことに、皆さんと一緒に果敢にチャレンジしていきたい。

2019.11.22